



すぎなみ 教育報



No.212

平成26年3月14日

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 03-3312-2111 FAX 03-5307-0692

「土曜授業」がはじまります

～杉並区教育ビジョン2012「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」を目指して～

教育委員会では、家庭・地域・学校が教育の重要な担い手となり、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいます。その取組を一層推進していくために、4月から土曜授業を開始し、学校支援本部や地域の方々にも協力いただきながら、「かかわり」と「つながり」を重視した教育や各校の課題を解決するための教育を行います。

「かかわり」と「つながり」 を重視した教育

地域と連携した体験的活動や外部の人材を取り入れた学習を実施します

- 生き方を学ぶ教育活動（総合的な学習の時間・生活科）
- 道徳授業地区公開講座
- セーフティ教室
- 地域行事と一体となった活動（地域防災訓練・地域清掃）

各校の課題を 解決するための教育

児童・生徒の実態にあわせて、各学校の特色を生かした学習を実施します

- 課題追究・探究型の学習
- 小中連携教育
- 学力・体力向上に向けた取組



土曜授業って何ですか??



Q なぜ土曜授業を行うのですか?

A 週休日である土曜日は、保護者や地域の方々、平日に比べて学校に参画しやすい日といえます。このメリットを生かし、学校・家庭・地域が連携し、役割分担を図ることで、子どもたちにこれまで以上に豊かな教育環境を提供することができると考えているからです。

Q 土曜授業は、毎週行われますか?

A 月1～2回程度（原則、第2または第4土曜日）に実施します。

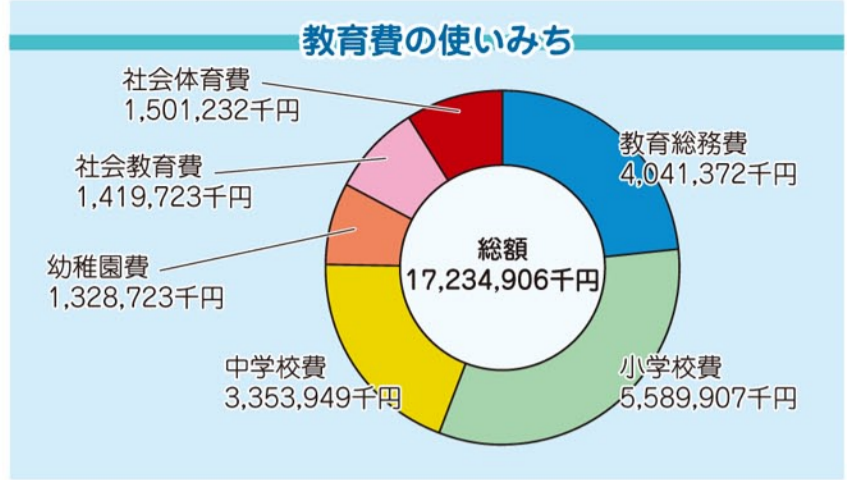
Q 授業時間は?

A 午前中だけの授業が原則で、給食はありません。ただし、行事を行う場合などは、必要に応じて1日単位で実施することもあります。

教育予算(案)の主な事業を紹介します

杉並区は、平成26年度を区の基本構想の実現に向けた取組を加速させる年と位置付け、「未来へ駆ける予算」を編成しました。教育予算(案)は172億3490万6千円となり、区的一般会計予算の10.7%を占めています。

教育委員会では、子どもや若者たちが、夢と希望を見出し、その実現に向かって、自らの道を拓いていくための支援を拡充していきます。



義務教育保護者負担経費の軽減(2億786万8千円)

保護者の経済的負担を軽減するため、小学校で使用するドリルやワークブックなどの教材費や中学校修学旅行の費用の一部について、所得水準に関わりなく公費負担します。

- 小学校教材費(済美養護学校を含む) 児童一人当たり 通常学級 7,761円 / 特別支援学級 2,526円 / 済美養護学校小学部 6,007円
- 中学校修学旅行費(済美養護学校を含む) 生徒一人当たり 30,000円

情報教育の推進(6億8,767万円)



電子黒板やタブレットパソコンなど、ICT(情報通信技術)機器を活用した次世代教育環境の整備・充実を進めます。

- 電子黒板機能付プロジェクターの導入(区立小中学校普通教室)
児童・生徒の理解力の向上に役立つ多彩で魅力的な授業を展開できるデジタル教材の利用を促進するため、全校の普通教室に電子黒板機能付プロジェクターを配置します。
- タブレットパソコンの導入((仮称)杉並和泉学園、小学校3校、特別支援学級)
研究指定校に対し、情報端末を1人1台配付し、ICT機器を利用した次世代教育環境の整備・充実に向けた実践的研究を進めます。

小中学校空調設備整備(1億1,630万円)

理科教育充実のため、小中学校の理科室に順次エアコンを設置し、学習環境の改善を図ります。

- 小学校 33校37室 平成26年3月～8月 設置工事
 - 中学校 18校36室 平成26年10月～平成27年3月 設計
- ※エアコン設置済校及び校舍改築着手校を除く。



スポーツ推進計画の実現/次世代トップアスリートの育成(1億80万7千円)



誰もがスポーツ・運動に親しみ、健康で豊かな生活を送れる社会をつくりまします。また、次世代育成基金を活用し、次世代のトップアスリートを目指す青少年を支援します。

- スポーツ推進計画「健康スポーツライフプラン」の推進
スポーツに関心がない人でも、地域の身近なところで、スポーツに関する情報が目に触れるようにPRを行い、意識啓発を図ります。また、指導者やジュニアなどを対象とした「(仮称)杉並スポーツアカデミー」を立ち上げ、スポーツを支える環境づくりを行っていきます。
- 次世代トップアスリートの育成
2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、杉並区から世界に羽ばたく選手を育て、応援していきます。

ペン知る ▶ 平成26年度 就学援助のお知らせ

就学援助は、区内在住で国公立の小・中学校に通学している児童・生徒の保護者に対し、学用品や給食など、学校に必要な費用の一部を杉並区が援助する制度です。

【対象】杉並区に居住している児童・生徒と同居の保護者で、次のいずれかに該当する方

- (1) 現在、生活保護を受けている。
- (2) 平成25年4月1日以降に、生活保護が停止・廃止になった。
- (3) 平成25年中の世帯員全員の総所得金額の合計が、教育委員会が定める認定基準額以下の世帯。

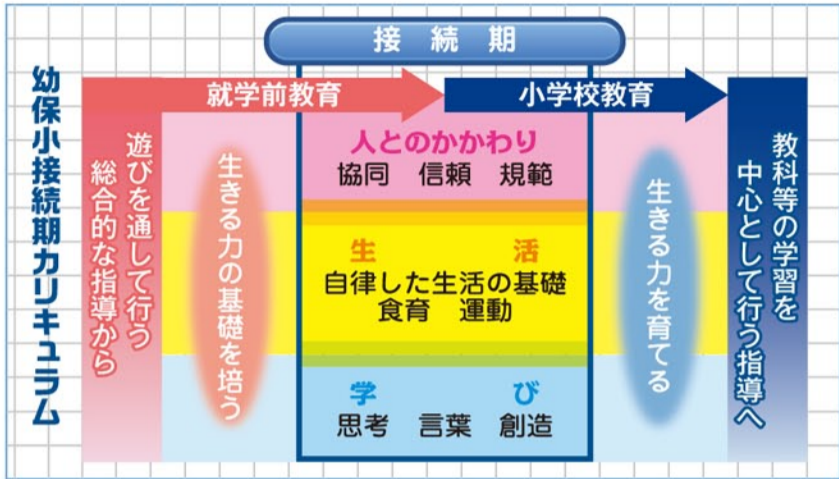
【申請書】4月以降に区立小・中学校または学務課就学奨励担当で配布します。区外の学校に通学している児童・生徒の保護者で、就学援助の受給を希望される方は、お問合せください。

杉並区幼保小 接続期カリキュラム 連携プログラム

ぐんぐん伸びるすぎなみの子

～かかわる つながる ふかまる 育ちと学び～を策定しました

小学校の新1年生は、新しく始まる学校生活にわくわく胸弾ませる期待感と環境の変化への緊張感を抱きながら入学します。区内の就学前教育施設と小学校が協力して、入学した子どもたちがスムーズに小学校生活になじんでいけるようにすることが大切です。情報共有を図り、一人ひとりの発達段階に応じるとともに就学前の経験を踏まえた、きめ細かい指導を実現することで、子どもたちが安心して学び続けることができる教育を目指します。



- 幼児と児童の交流活動**
- 幼児には、児童への憧れや小学校生活への期待感を高められるようにします。
 - 児童には、自分の成長への気付きや幼児への思いやりの気持ちを育みます。
- 保育者と小学校教員の連携**
- 子どもの発達を長期的な視点で捉えるようにします。
 - それぞれの教育・保育内容や指導の方法などについて相互理解を図ります。
- 保護者への理解啓発**
- 就学に向けた保護者の不安の解消や意識の高揚を図ります。
- (仮称) 杉並区版プリスクール**
- 園において、子どもたちが共通のテーマのある遊びを進めていく協同的な経験を通して、集団の一員としての自覚や主体的な探究心などの心情・意欲・態度を培います。
 - 年長児が小学校の人・もの・ことに触れ合う体験を通して、小学校生活への期待や憧れの気持ちを大きく膨らませていきます。

詳細は、3月末頃に教育委員会ホームページに掲載予定です。

問合せ: 済美教育センター-就学前教育担当 ☎03-3311-0021

「杉並区小中一貫教育基本方針」を改定しました

教育委員会は、義務教育9年間を通した一貫性のある教育の充実を図るため、平成21年に「杉並区小中一貫教育基本方針」を策定し、すべての区立学校で小中一貫教育を推進してきました。この間、各学校において、児童・生徒や地域の状況に応じた取組を行うことにより相互理解が図られ、学習内容や生活指導が充実しました。

今後は小中学校の連携をさらに深め、両者のよさを生かし合い協働することで、すべての子どもたちが、自立して社会で生き、豊かな人生を送るための基盤を築くことを目指して、義務教育9年間を通した一貫性のある教育を着実に進めます。

※方針の全文は、区及び教育委員会ホームページのほか、学校支援課(区役所東棟6階)、区政資料室(区役所西棟2階)、図書館でご覧になれます(各閲覧場所の休業日を除く)。



問合せ: 学校支援課

「子どもの発達段階に応じた親のかかわり方」

杉並区立小学校PTA連合協議会と協働した家庭教育講座(全7回)が終了しました。各分区分の保護者の皆さんからの不安や疑問をもとに企画した講座のテーマは様々ですが、第2分区分では、東京大学大学院助教 森俊夫先生をお招きし、講演会を開催しました。先生からは、子どもの発達段階での特色やその時期に取り組むべき課題を①乳幼児期～就学前期、②学童期、③思春期・青年期前期と段階ごとに伺い、先を見据えて、今どのように子どもにかかわるかを学びました。

さらに最後には、「発達段階を問わず、肝に銘じておくことよいこと」の話も聞き、子育ての見通しや考え方が広がる講演会となりました。

＜参加者の声＞

- ・発達段階にはそれぞれに発達課題があり、それを飛ばさないように経ることが大事で、子どもをいきなり大人にはできないことがわかりました。
- ・子育ての目標は、子どもが自立・自律して家から出ていけるようにすること、というのはイメージを持ちやすかったです。

子育てや家庭教育のヒントが載っている各講座の概要は3月下旬に教育委員会ホームページに掲載予定です。家庭教育講座は、保護者同士の身近な集まりでも開催することができます。興味のある方はご相談ください。



問合せ: 学校支援課 家庭・地域教育担当

ペン知る ユネスコ中学生クラブが始まります!

世界中から、様々なゲストスピーカーを招いて行っているユネスコ中学生クラブ。今年も経験豊かな高校生、大学生、外国人のお兄さんやお姉さんなどが中心となり企画したプログラムで、英会話や世界の国々について楽しく学びます。

Let's have fun with ユネスコ中学生クラブ!

【日時】平成26年4月～平成27年3月の毎月2土曜日(8月を除く)午後2時30分～4時30分

【場所】セシオン杉並ほか 【対象】区内在住・在学の新中学1～3年生 【定員】60名 【費用】年間4,000円

【問合せ】社会教育センター(〒166-0011 梅里1-22-32 ☎shakyo-c@city.suginami.lg.jp ☎03-3317-6621)

※4月2、3日にはセントメリーズインターナショナルスクール(世田谷区)への一日体験入学も予定しています。



教育シンポジウムを開催しました 「私たちがすること—いじめをなくすために—」

このシンポジウムは、中学生がいじめと向き合った「杉並中学生生徒会サミット」での議論を受け、大人は何ができるのか考える場として開催しました。

児童・生徒をはじめ保護者・教職員そして地域の大人が500名近く集まり、活発な意見交換を行うことができました。最後には、「大人が率先して、違いを認めていこう。そして、地域の中に子どもの居場所として多様な場をつくっていこう」ということが共有されました。



来場者も交えて、いじめについて議論しました

問合せ:学校支援課

主な意見

- 子どもが誰でも相談できる体制を大人で作りたい (登壇者)
- 誰にでも良いところがあるという見方を親が手本として示したい (登壇者)
- 大人には、一緒に居て、親身になって聞いて、一緒に考えてほしい (登壇生徒)
- 男女が協力できるクラスではいじめが起きにくい (来場者)
- 大人は子どもの声を受け止めるところから考えていきたい (来場者)
- 家庭・地域・学校で、手を取り合って良い環境を作ることが大切だと思う (来場者)

杉並の地下はこうなっていた! —武蔵野台地とローム層を解剖する—

科学館・郷土博物館・文化財の連携企画として、2月9日に、博物館で武蔵野台地形成の歴史についての講義と関東ローム層の顕微鏡観察を行いました。参加者は、区内で採取された関東ロームの中に含まれる鉱物を洗い出し、その鉱物を顕微鏡で観察しました。含まれる鉱物の違いからは、地層ごとの年代の違いや自然環境の移り変わりを窺い知ることができます。

参加者からは、「文化財的なものを科学的視点から見る面白さを知った」や「いろいろな分野の話や専門の人から聴くのは楽しい」といった意見がありました。これまでは施設ごとに活動してきた分野が連携して実施したことで、様々な角度から杉並を知るきっかけとなったのではないのでしょうか。



※2月16日に予定していた遺跡調査現場見学会は、大雪の影響で中止となりました。

問合せ:郷土博物館 ☎03-3317-0841

おめでとうございます!

このたび、各学校における取組などが、表彰されました。それぞれの活動内容を紹介します。①受賞者・団体 ②活動内容

優れた「地域による学校支援活動」 推進にかかる文部科学大臣表彰

- ①桃四コミュニティスクール
- ②善福寺公園を中心に行われる国際野外芸術祭「トロールの森」への児童参加など学校運営協議会の地道で熱心な議論を豊かな教育活動につなげてきました。また、地域の路線バスの停留所アナウンスを児童が担当するなど、社会への積極的な発信が支援の厚みと深みにつながっています。

キャリア教育優良校文部科学大臣表彰

- ①天沼小学校
- ②低学年ではアサガオの苗を販売するお店を「あまぬまつり」に出店したり、高学年では市場調査をもとに商品の製作・販売を目指す模擬株式会社を立ち上げたりする活動を行っています。このような体系的なキャリア教育により「将来設計能力」「人間関係形成能力」等の社会的・職業的な自立に向けて必要な能力を育てています。

第24回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰

- ①和泉グリーンプロジェクト
- ②地域の人々が中心となり、和泉小学校の芝生の維持管理を行うボランティア組織を形成し、緑化推進の模範となる活動を行っています。4月から11月まで毎週土曜日に芝刈りを行い、夏休みは芝生と触れ合うグリーンコンサートを、冬にはペットボトル芝生コンテストなどを実施しています。

文部科学大臣優秀教職員表彰

- 【特別活動の推進】
- ①主幹教諭 高橋 明 (杉並第一小学校)
 - ②特別活動の指導を中心に、若手の人材育成を積極的に進めてきました。杉並区小学校教育研究会特別活動部の部長として、区全体での特別活動の推進も図っています。
- 【体力向上の推進】
- ①主幹教諭 菅野 至 (東田小学校)
 - ②区の体力向上委員会の中心メンバーとして「杉並体力デー」を立ち上げ、「長縄大会」を行い、区内各校への普及に努めてきました。

教育委員の活動を紹介します

2月6日、対馬委員が、杉並第一小学校を訪問しました。

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、日頃から学校等にも足を運び、教育活動の視察や意見交換などを行っています。そうした教育委員の活動を順次紹介していきます。



杉並第一小学校は、区の教育課題研究指定を受け、「心と体の健康づくり～元気いっぱい杉一プランの実践を通して～」を研究主題に、研究発表会を開催しました。同校では、曜日ごとにストレッチや長縄8の字跳びを行う「元気タイム」や栄養士と連携をした食育などを行っています。「健康な心と体力づくり」に進んで取り組む子を目指し、総合的な体力向上に取り組んでいます。

杉並第一小学校では「健康な心と体づくりに進んで取り組む子」を目指して研究し、この日その成果の発表がありました。「健康」は生きていくうえで、最も大事なことのひとつです。健康に生活するためには、自分の体のことを知り、食事に気を配り、体力をつけていくことと同時に、毎日の生活習慣づくりが大切です。杉一小では、児童が健康に成長していくことができるよう、それぞれの発達段階に応じた指導が行われていました。生活習慣づくりは、学校だけではなく、ご家庭や地域の協力が不可欠です。この研究では、保護者をはじめ、近隣の幼稚園とも連携を取りながら進めてきたことは、とても素晴らしいことです。このような取組は、ぜひ区内全体で取り入れてほしいと思います。また、寒い中、杉一小のPTAや学校支援本部の皆様方が、来校者をあたたかく迎えてくださいました。この素晴らしいおもてなしに感動しました。

—対馬委員から—

教育委員会の動き(平成25年12月～平成26年2月)

教育委員会は、毎月第2・4水曜日に開催され、必要に応じて臨時会を開催しています。

【教育委員会開催状況】 定例会 5回 臨時会 1回 議案 13件 報告事項 26件 協議事項 1件

【主な案件】 ◎は議案、○は報告事項、●は協議事項

◎杉並区立小中学校新しい学校づくり推進基本方針の策定について

○アンネ・フランク関連図書被害について

◎杉並区小中一貫教育基本方針の改定について

●「杉並区幼保小接続期カリキュラム・連携プログラム(案)」の作成について

○平成25年度 東京都「児童・生徒体力・運動能力、生活運動習慣等調査」の概要及び結果について

○「平成24年度児童生徒問題行動等生徒指導上の諸課題に関する調査」の概要及び結果について

●再生紙を使用しています